

右の者に対する偽造有価証券行使被告事件(昭和五四年(あ)第八九号)について、
原審及び第一審の各判決中訴訟費用負担の各裁判に対し、弁護人であつた下坂浩介
からその裁判の執行免除の申立があつたが、右申立は、刑訴法五〇〇条二項の定め
る期間の経過後になされたものであるばかりでなく、申立人において被告人から本
件申立をする委任をうけていることの証明がないから、いずれにせよ不適法である。

よつて、裁判官全員一致の意見で、次のとおり決定する。

主 文

本件申立を棄却する。

昭和五四年六月二六日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	中	村	治	朗
裁判官	団	藤	重	光
裁判官	藤	崎	萬	里
裁判官	戸	田		弘